

世田谷区議会議員・田中優子の《コミュニティ・サロン》

区政報告（ウラ話も！）& 専門職としての技術を持ち合わせた友人・知人、地域で様々な活動していらっしゃる方々をゲストにお迎えして交流をはかる、田中優子の《コミュニティ・サロン》



狼ってどんな動物？狼は怖くない！！

～生態系での役割と日本の自然との関係～

★2019年9月のゲストは「狼と森の研究所」のお二人★

【朝倉裕さん】 早稲田大学商学部卒。自然保護ボランティア活動の中で1995年「シカ問題はオオカミ問題」という命題と出会い、森林と野生動物が構成する生態系、人間社会と森、野生動物のかかわりの歴史等、オオカミ復活こそが日本の自然を護る方法であると広く伝える活動を続けている。

【南部成美さん】 東北大学文学部社会学科卒。東京農工大学大学院（自然保護学専攻）「オオカミの再導入」というテーマに出会い、生物学的な知識と共存のための考え方を伝える「オオカミ教育」に取り組んでいる。米国の国際オオカミセンターより2018年度 Who Speaks For Wolf Award を受賞。

【狼と森の研究所】

日本の各地で増えすぎたシカが農林業に被害を与え、緑を食い荒らし、森の豊かさ、生物多様性が急激に失われる深刻な事態が進行しています。歪んでしまった自然のバランスを元に戻すには食物連鎖によるいのちのつながりを森に取り戻さなければなりません。そのためには、頂点捕食者オオカミの再導入が必要であること、正しいオオカミの姿と共存のための理解を広めることを目的に活動しています。

【書籍出版】

- ① 『オオカミ 迫害から復権へ』 G・マーヴィン著 南部成美訳（2014年）白水社
- ② 『オオカミと森の教科書』 朝倉裕著（2014年）雷鳥社
- ③ 『ウルフ・ウォーズ』 H・フィッシャー著 朝倉裕・南部成美訳（2015年）白水社

★皆さまへのメッセージ★

私たちの暮らしは自然の恵みに支えられています。しかし森と野生動物と人の関わりのかたちも時と共に変化していきます。日本の森がこれからも豊かで美しく健全なものであり続けるために何ができるかを考えた時、オオカミの不在がとても大きな課題として立ち上がってきます。日本の豊かな自然を次の世代に手渡すために何が必要か？ぜひ一緒に考えてください。

★日時 9月22日（日）9時45分～11時45分

★参加費 300円

★会場 北沢タウンホール・3階 ミーティングルーム

世田谷区北沢2-8-18（下北沢駅より4分）03-5478-8006

★要予約（お申し込みは田中優子までお願いします）

TEL&FAX 3322-8131 メール setagaya@tanakayuko.net

